

令和7年3月18日配布
3月24日修正
全国高体連柔道専門部配布
4月13日
東京都高体連柔道専門部一部転用

国際柔道連盟試合審判規定改定の適用について

1. 技の判定について、「有効」を適用する。
2. 罰則の適用については、全国高等学校体育連盟柔道専門部大会申し合わせ事項により一部を禁止、及び、現行通りの対応とする。
※理由として、本来の日本の柔道を崩してしまう可能性があること、及び、怪我・大事故を防ぐため。
 - ア 逆背負投（通称） → 「指導」
 - イ ピistolグリップ・袖口・裾口に指を入れる（寝姿勢、立姿勢共に）
→ 「指導」
 - ウ ダイビング（通称）・ユージングザヘッド（通称）
→ 「反則負け」、その後、一連の試合に出場できない。
 - エ ヘッドディフェンス（通称）
→ 「反則負け」、その後、一連の試合に出場できる。

（追記）

マウスピースの着用については、現行通り、白もしくは透明のもので、柔道衣コントロールの際に申請すれば可能である。